

南部シルバー だより

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

第46号

平成28年3月1日発行

本所 〒683-0351
鳥取県西伯郡南部町法勝寺170
電話(0859)66-4011 FAX66-5330

伯耆支所 〒689-4201
西伯郡伯耆町溝口688-7(遊学館内)
電話(0859)63-0222 FAX63-0223

業務時間 8:30~17:15
(休業日) 土・日・祝日



第1回の女性のつどいは、島根県大根島・境港方面へ日帰り研修(28.2.18)

女性のつどい 始めました

楽しいなかまと楽しい語らい!

シルバーで人生キラキラよ



南部広域シルバー人材センターは、ホームページを活用して

全国のお客さまのご依頼に応えます

南部広域シルバー人材センターのトップページ。業務の紹介や入会案内、見積りや就業依頼ができます。



ネットで業務を広くアピール

南部広域シルバー人材センターでは、平成27年2月からホームページを開設し、ネットでのご注文やお問合せに応えています。ホームページ開設の目的は、シルバー人材センターの業務内容を多くの方に知っていただくためです。併せて、町外からの注文・お問合せにネットを通じてお応えするためです。

実際に町外からの業務依頼は近年、徐々に増えていきます。その内容はお墓の掃除や空き家の除草、剪定、休耕田の草刈りなど。いずれも所有者が遠くにいるため、自分できないという事情があります。

遠くの依頼にも応えます

町外からの仕事の依頼は今後も増加する見込みです。

このため、ホームページの役割は一層重要さを増すものと思われます。

町外にいて、自宅や農地の手入れができないとお困りの方がいらしたら、シルバーのホームページをご覧になるよう教えてあげてください。検索は「シルバーまかせてねっと」です。

シルバー人材のいまそしてこれから

いま、全国のシルバー人材センターが直面する課題は二点。一つは会員の減少傾向。二つ目は業務の依頼の増加。この状況は、南部広域シルバー人材センターでも同様です。公益法人としてこれからの課題解決に今後どう取り組んでいくのか。「地域と暮らしを守る」という使命をもったシルバー人材センター。当センターの、現在の取り組みや今後の展望を紹介します。

会員数は近年減少傾向で推移

近年の当センターの会員数は若干の減少傾向にあります。過去5年間、退会会員が入会会員を上回る状況が続いています。特に60代前半の入会会員が少なくなっています。その理由としては、60歳を過ぎても継続雇用等で仕事を続ける人が多くなったことがありますが、背景には、企業の人手不足や年金の支給年齢が上がったことなどが挙げられます。

一方、退会者の退会理由は、年齢によるものがほとんどです。内訳は70代後半が中心で、従来当センターの中で最も会員数が多い層です。この会員さんたちが退会されることで、入会数が退会数に追いつかない状況



理事長 安達 幸男

業務依頼は年々増加 地域の高齢化反映

反面、当センターへの業務依頼は年々増加する傾向にあります。業務の内訳は、庭木剪定や草刈、墓掃除などの野外作業や障子・ふすま張り、家事援助、工場や大型商店への派遣などです。

業務依頼が増加している背景としては、高齢化が進み、今まで自分でしていた家や農地の管理ができなくなった人の増加が挙げられます。加えて、町外在住の方からの依頼も増加しています。

また、企業や大型商店からの派遣依頼は、シルバー会員が軽労働や半日程度の就労に適合しており、会員と企業の双方のニーズが適合することが挙げられます。

組織をあげての 会員数拡大活動

業務依頼の増加傾向は、今後同様に推移することが予想されます。

社会に力を発揮し続ける 充実人生を

「人生これから。いつまでも社会に力を発揮したい」とお考えの方。当センターには多くの仲間があなたを待っています。

入会した会員の皆さんには、仕事を通じて社会に力を発揮し、同時に収入も得るといったメリットを体感していただいています。

これらと併せて、仲間と楽しく語り合う機会の提供も必要です。このため、「女性のつどい」などの一日旅行や、接遇・マナー講習、超一流の日本庭園で技術を学ぶ剪定講習など、楽しく人生を送っていたく機会を提供することにも力を入れています。



休憩中の、作業打合せを兼ねた歓談。仲間と話すことは、仕事をするうえでの楽しみにもつながります。左手のカメラマンは、中海テレビの取材班

シルバー 講習会 紹介

より良い仕事をお届けするために、会員は学び続けています

南部広域シルバー人材センターでは、年間を通じて様々な研修や講習を実施しています。最も重要な講習は、就業時に最優先される安全の知識を習得する講習です。その他、シルバー人材センターの就業に必要な知識や技術の講習も多数行っています。今回はその中から今年度を実施したいいくつかを取り上げ、会員の皆さんの知識や技術の向上に取り組み姿勢を紹介いたします。

安全講習会 2月 23・24日

就業中に最も大切なことは安全です。事故やケガは日常の心がけて防ぐことができます。安全講習はシルバー人材センターが最も力を入れて取り組む教育活動で、毎年必ず実施しています。

近年、県内でも高齢者の交通事故が多発していることから、今年度は鳥取県警から講師を招き、高齢者の交通安全についての講義を受けました。



県警講師から交通事故防止を学ぶ参加者

また、昨年はスズメバチが大発生し会員にも被害が出た



ハチ、マムシなど、危険生物の対処法を受講

ことから、南部町の自然観察指導員を講師に招き、危険生物の対処法についても学びました。

県警交通課の指導員の講義は、自分の反射神経や運動能力、視力がどの程度のレベルにあるかを判断する実技や、交通事故が発生する場所や状況などを学びました。

危険生物の対処法では、講師の桐原真希さんから、まず、スズメバチやマムシなど、就業中に遭遇するかもしれない生物の生態についての講義を受けました。その後、刺された、または噛まれた場合の止

血、毒の吸出方法などを学びました。

接遇マナー講習会 1月 22-29日

好感度はシルバーの就業でも必須事項です。今年度は会員の接遇技術の向上を目的に、接遇マナー講習に取り組みました。講師は、接遇インストラクターの遠藤智子さん。挨拶やおじぎ、相づち、正しい日本語などを、実技をふんだんに交えてご指導いただきました。



実技もふんだんに盛り込んだ研修のようす

した。参加した会員の皆さんからは、「初心にかえった」という声が多く聞かれました。

不要品講習会 7月29日

当センターでは家庭の不要品の片づけも行います。そこで必要となるのが家具の解体。今回は、米子市にある「みつわ衛生社」の不用品片づけを専門に行っている「ほうき小僧」チームの皆さんにお越しいただき、家具の解体実演を行っていただきました。大きなソファを手際よく解体する実演と解説に、参加した会員の皆さんは「大変勉強になった」と感動しきりでした。



ソファの解体実演を真剣に見入る会員・職員

会員紹介

南部広域シルバー人材センターの会員数は現在380人。皆さんいずれもユニークな技をもっていきます。今後発行する広報では、会員さんの特技や趣味、技術を紹介いたします。初回は7名の皆さんに登場していただきます。



お家修理、木工、何でも

小向井通昭さん

元工務店経営の小向井さんは、大工、左官、簡易な電気工事、塗装、刃研ぎなど、なんでもござれの万能会員。飄々とした風貌とプロの技術で、ファンのお客様が多い会員さんです。

調理ならおまかせ スーパーで活躍

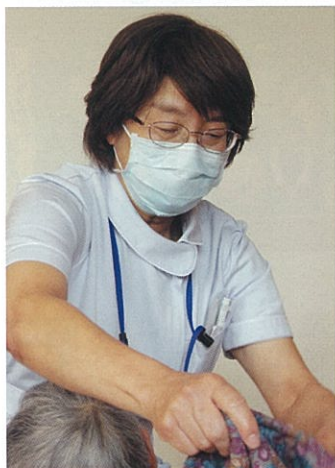
吉澤純子さん



スーパーの惣菜部で腕をふるう吉澤さんは、調理のベテラン。「若い方と一緒に職場は毎日が楽しく、若返ります」

明るい人柄、患者さんに人気 別所紀子さん

シルバーから第1号の西伯病院看護助手。別所さんの魅力はとことん明るく、そして正直なこと。こんな方が食事の介助をしてくれたら、患者さんも楽しくなります。



山根光子さん

山根さんは大阪でご主人と洋服の仕立店を営んでいた方。洋服や和服、カバンなどなんでも直せます。布製カバンも自分で制作。プロの技です。



木工芸のフロロ 長谷川良樹さん



独学で習得した木工技術。今では完全なプロです。写真のような作品をはじめ、額やついたてなど多彩な作品を作ります。今後はシルバーで木工芸の就業もしてみたいという希望もあります。

刃もの研ぎならこの人 瀬角近志さん

瀬角さんは、小さい頃からお父さんに刃物研ぎを教わり、すっかり好きになったとのこと。優しく刃物を研ぐ瀬角さんですが、研ぎあがった刃は鋭くギリリと、迫力満点です。



野外作業 何でもできる 長尾諭さん

お得意は、と聞くと「何でも」。そんな訳で、今回は水車を作ってくださいました。軸受部には金具を取り付けるなど、行き届いた仕上がります。もうすぐ春。これまた得意な野外作業が待っています。



シルバー人材センターでは、こんな仕事があなたの活躍を待っています

他にも様々なお仕事があります。詳しくは8ページをご覧ください。
 入会説明会 毎月第3水曜日・午後1時30分から3時まで
 ・偶数月 プラザ西伯(南部町法勝寺170)
 ・奇数月 ゆうあいパル(伯耆町大殿1010)
 ※入会希望の方は入会説明会の受講は必須です。

庭木剪定 庭木消毒 庭木施肥		家事援助 買物代行 お家の片づけ	
ガーデニング 花壇管理 庭草取り		家屋の簡易な修理 宅内修理 タナ取り付け	
空き地草刈 農地草刈		農業支援 果樹剪定	
パソコン作業 ・文書作成 ・データ入力 パソコン指導		洋服リフォーム 布製カバン修理 布製カバン制作	



27年度 新入職員紹介

私の健康法

(あしがきにかえて)
 普及啓発部長 田浪照雄

私の健康法は歩くことです。就業先は広い工場で、物を運搬するのに一回につき片道200歩、往復で400歩。これを1日に20回ぐらいい繰り返します。で、普段の生活の歩数を含めると、多い時で1万1千歩以上歩いています。

私の携帯電話には万歩計の機能があり、九九九日分のデータが保存できるので、自分の運動不足がすぐわかります。

退職後、シルバー人材センターに入会し、いくつかの就業を体験させていただきましたが、今の就業先の仕事私の健康維持にたいへん役に立っていると思っています。

家にはかりいと運動不足になり、太って足まで弱くなりそうです。仲間と一緒に働くことにより健康維持ができ、おまけに収入につながる。こんなに良いことはありません。

私はこれからも元気に過ごすために、シルバー人材センターで就業を続けたいと思います。未加入の皆様、一緒に働きませんか。健康維持のために。

シルバー会員は、心を込めた奉仕活動で地域に力を発揮しています

平成27年10月24日

溝口地区



中学校グラウンド除草、駅周辺の剪定

写真は溝口中学校グラウンドの除草作業の様子。草取り前後のグラウンドの様子にご注目ください。プロの技です。このほか、溝口地区では、溝口駅周辺の剪定も行い、駅利用者の皆さんに喜ばれました。



平成27年10月から伯耆支所は伯耆町溝口の遊学館(溝口駅)に移転しました。(写真)

岸本地区



伯耆町庁舎周辺 樹木剪定、草取り作業

こちらも毎年恒例の伯耆町庁舎の剪定作業と周辺除草に取り組みました。同庁舎周辺には、大きな木がたくさん植えられており、このため、剪定作業もごらんのように元氣いっぱい男性会員が中心となります。

会見地区



天萬庁舎周辺 清掃、除草作業

会見地区は恒例の天萬庁舎周辺での清掃や除草作業を行いました。同庁舎周辺には桜の木が多く植えられていることから、秋にはたくさん落ち葉が積ります。会員は落ち葉の片づけや除草作業に汗を流しました。

西伯地区



プラザ西伯 庭木剪定、除草作業

昨年の保育園に続き、27年はプラザ西伯の剪定や除草作業を行いました。ここは、放課後児童クラブが開設されている施設。奉仕作業後は、きれいになった中庭で、子どもたちが元気に遊んでいます。

第13回南部広域シルバー人材センター・グラウンドゴルフ大会

31日、伯耆町の楽楽福(ささふく)水辺公園で開催されました。

参加した会員50名は、県内外の大会に参加する上級者ぞろい。アウト・ボールや打数の極端に多いスコアはほとんどなく、レベルの高い熱戦が繰り広げられました。

当日の優勝者は、2ラウンドを35打で回った谷晴美



10月31日、ささふく水辺公園で開催された大会

グラウンドゴルフでシルバーの親睦を深める

27年度から 西伯郡シルバー G・G大会も始まる

上記大会に先立つ10月27日、第一回西伯郡シルバー・グラウンドゴルフ大会が大山町の仁王堂公園で開催されました。結果は、南部広域チームは総合点で惜敗。次回に向けて雪辱を期した大会でした。

さん(伯耆町)ちなみに2位の丸重勝さん(伯耆町)は36打。お見事のスコアでした。

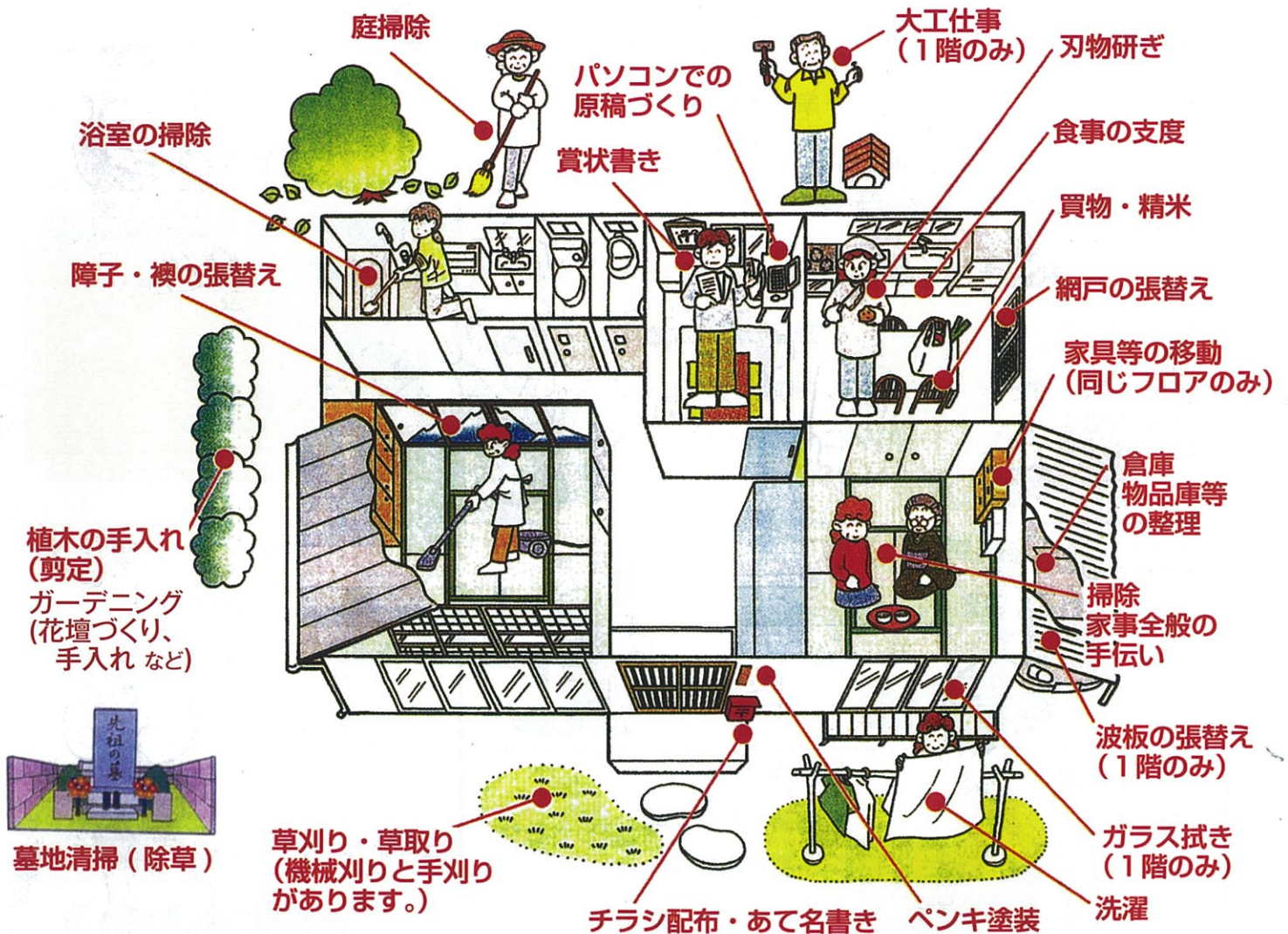
第一回シルバー西伯郡G・G大会(大山町仁王堂公園 10月27日)



第一回シルバー西伯郡G・G大会(大山町仁王堂公園 10月27日)

こんなお仕事はおまかせください!!

～家回りから専門分野まで、様々な仕事をお引き受けします～



空き家の見守りいたします

空き家が放置されたままですと、想像以上に荒れてしまい周囲の環境も悪化します。このことで隣近所にご迷惑をかけたり、事件や事故の発生にもつながります。

見守りの内容

- ・扉や窓などの点検
- ・庭の点検
- ・隣地境界の状況点検
- ・郵便ポストの整理

※上記結果は、写真を添えてメールや郵便で報告します。

対象者

南部町、伯耆町に空き家を所有されている方。

料金

年4回、10,000円(税込)
緊急時等 その都度2,500円(税込)



お仕事のご依頼、ご相談、シルバー人材センターへの入会は…

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

営業時間 8:30～17:15

休業日 土・日・祝日

本所 西伯郡南部町法勝寺170(プラザ西伯内)

TEL(0859)66-4011

FAX(0859)66-5330

E-mail:nanbu@sjc.ne.jp

伯耆支所 西伯郡伯耆町溝口688-7(遊学館内)

TEL(0859)63-0222

FAX(0859)63-0223

E-mail:houki@sjc.ne.jp